

# 無線式ポータブルデータコレクター CTD-RTR-500DC

## 概要

CTD-RTR-500DCは「ワイヤレスデータロガーCTD-RTR-500シリーズ」のポータブルタイプの親機です。データロガーと無線通信で離れた場所から記録開始、記録データの収集、現在値のモニタリング、警報監視ができます。パソコンと接続しなくても、記録データを収集したその場でグラフ表示し、確認することができます。

- 無線通信タイプのデータコレクター
- 吸い上げたその場でグラフ表示
- モニタリングと警報監視機能
- 複数のCTD-RTR-500DCで共通のデータロガーを管理
- 収集したデータをパソコンで管理
- 片手で簡単操作
- 多彩な電源と省電力機能
- 暗いところでも見やすいバックライト付液晶ディスプレイ



## 仕様

型式	CTD-RTR-500DC
対応機種(*1)	子機：CTD-RTR-501/502/503/574/574-H CTD-RTR-505-TC/505-Pt/505-V/505-mA/505-P (Lタイプ含む) 中継機：CTD-RTR-500C
データ容量	CTD-RTR-574の場合：7台分のフルデータ CTD-RTR-501/502/503/505の場合：15台分のフルデータ フルデータでない場合：最大250台分まで
通信インターフェース	<親機-(中継機)-子機間> • 無線通信(特定小電力無線) RTR-500Cモード：ARIB STD-T67(周波数：429MHz帯,RFパワー：10mW) RTR-57モード(*2)：ARIB STD-T67(周波数：426MHz帯,RFパワー：1mW) • 光通信(独自プロトコル) RTR-574を除く <親機-PC間> • USB通信 • シリアル通信(RS-232C)(*3)
無線通信距離	RTR-500Cモード：約150m(見通しの良い直線において) RTR-57モード(*2)：約100m(見通しの良い直線において)
通信時間 (データ吸い上げ時間)	• 無線通信 RTR-500Cモード：データ16,000個につき約2分20秒 RTR-57モード(*2)：データ16,000個につき約7分 中継機使用時は中継機1台につき上記時間を加算 • 光通信：データ16,000個につき約3分 • USB通信：データ16,000個につき約45秒
電源	単4アルカリ電池×2本(単4ニッケル水素電池、専用ACアダプタ <オプション：CTD-AD-0638>、USBバスパワーも使用可能)
電池寿命(*4)	RTR-500DCモード： モニタリング：連続60時間(60秒周期/中継機なし) 周波数チャンネル使用状況確認：連続36時間 無線通信によるデータ吸い上げ：連続200回 (RTR-501のフルデータ/中継機なし/バックライトオフ) RTR-57モード(*2) モニタリング：連続48時間(60秒周期) 周波数チャンネル使用状況確認：連続32時間 無線通信によるデータ吸い上げ：連続150回 (RTR-51のフルデータ/バックライトオフ)
本体寸法	H 125mm x W 58mm x D 26.3mm (アンテナ含まず) アンテナ長: 57mm
質量	約127g(電池含まず)
本体動作環境	温度：0~+50℃ 湿度：90%RH(結露しないこと)
付属品	単4アルカリ電池(LR03)×2、USB通信ケーブル(CTD-US-15C)、ソフトウェア(CD-ROM)、取扱説明書(保証書付)一式
ソフトウェア対応OS	Microsoft Windows 8 32/64 bit 日本語、Microsoft Windows 7 32/64 bit 日本語

- (\*1) CTD-RTR-5シリーズと混在して使用する場合は詳細については、互換性情報についてご確認ください。
- (\*2) RTR-57モードとは、RTR-500DCを従来機種種のRTR-57Uとして使用し、RTR-5シリーズデータロガーと無線通信を行うモードです。
- (\*3) 別途公開の通信プロトコルを使用し、お客様ご自身でソフトウェアを作成していただければPC間とのシリアル通信が可能となります。その場合オプションのシリアル通信ケーブル(TR-07C)が必要です。
- (\*4) 電池寿命は周辺温度、記録間隔、通信回数、電池性能などにより異なります。本説明は新しい電池を使用したときの標準的な動作であり、電池寿命を保証するものではありません。
- (\*5) インストール時、Administrator(パソコンの管理者)の権限が必要になります。